

J R大阪近郊区間の列車の旅（第1回）

更井記

1. 期日：2008年7月5日（土） 大阪駅8番ホームに10時05分集合
2. 参加者7名：金岡実、市間敏太郎、梶川正男、三ツ井強、中野能孝、山田陽三、更井敬治
3. 切符：大阪駅近くに帰還することを想定し、『大阪⇒北新地』170円を購入する。

4. 乗車した路線

大阪⇒（京都線・湖西線／新快速）⇒近江塩津⇒（北陸線・琵琶湖線）⇒草津⇒（草津線）⇒柘植⇒
10:15発 12:01着／12:05発 13:23着／13:27発 14:09着／14:12発
（関西線／ワンマンカー）⇒加茂⇒（大和路線）⇒木津⇒（学研都市線／快速）⇒北新地
15:04着／15:14発 15:24着／15:26発 16:29着

5. 距離：大阪⇒各所経由⇒北新地の総距離332.4km（料金5,460円相当）

6. 乗車レポート

関西支部では初めての試みながら、皆さん興味深くて7名も参加した。そもそも本部の中田宏さんから5月4日に関東を回った事例を聞いて、6月10日『くだおれ』の食事会行事に参加した皆さんに紹介したところ、金岡さんが詳しく経験者であることが分かった。早速、金岡さんをお願いして、別紙A～Eの乗車コースを立案していただいた。今回はこの中のBコースにチャレンジしたものである。

神戸方面からの乗客は大阪駅で7～8割が入れ代わる。競って乗り込むため、我々5名は分散して辛くも席を確保した。その後、新大阪で市間さん、高槻で三ツ井さんが乗車されたが、京都までは車内が混雑して離れ離れのままだった。京都で8両切り離されて4両となり、山科で分岐して琵琶湖の西岸に行く湖西線に入ってからやっと全員が顔を合せられた。琵琶湖の北端、近江塩津駅には正午過ぎ到着し、当日始めてホームに降り立った。



近江塩津駅のホームにて

2番目の乗車は当駅始発で北陸線、琵琶湖線回りの米原を経由して草津へ向かう列車である。ボックス席2ヶ所を確保、まずは各自持参の弁当で腹ごしらえをした。食べ終わると、市間さんが将棋セットを出してきて、梶川さんとの対局が始まった。



将棋の対局

3番目は滋賀県の草津と三重県の柘植（つげ）を結び、甲賀流忍者の里を通る草津線である。約40分間、緑いっぱいの山里を軽快に走り続ける。そして三重県の県界に入れば直ぐ柘植に着く。

柘植で4番目の関西本線に乗り換える。昔、関西本線は大阪難波から奈良、亀山、名古屋を結ぶ幹線鉄道であった。しかし、東海道新幹線や近鉄線の充実、道路網の整備によって現在は両都市圏を結ぶ中距離鉄道の重要性はなくなっている。京都府の加茂と三重県の亀山を結ぶ途中区間は過疎化により、現在はディーゼル車1両のワンマンカーを運行させている。我々はこのワンマンカーに乗ったが、混んでいて全員座りきれなかった。



車内でくつろぐ皆さん

5番目の加茂～木津は1駅区間で本来関西本線の一部であるが、現在は大和路線となっている。そのまま乗り続けければ奈良、王寺を経由して大阪難波へ行ってしまう。

6番目は木津で乗換え、学研都市線で一気に大阪へ向かう。但し今回は梶川さん達と共に私も北新地まで行かず、大阪環状線の京橋で乗換えて、帰宅方向に向かってショートカットしてしまった。

今回の旅を振り返ると、乗換え待ち時間を最小にした駆け足の旅であった。次回は主要駅でお茶を飲みながらのんびり旅も良いかと思ったりする。

ご同行の皆さん、お疲れさまでした。



参加者全員、加茂駅のホームにて